

すどう あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

一 東京2020オリンピック・パラリンピックの北区における諸課題の対応について

(一) 大会期間中における観光客をはじめとした多数の来訪者に係る諸課題

ア 外国人観光客への対応

【要旨】

オリパラ期間中は多数の観光客が訪れることが想定されるが、外国人観光客への対応について、区としての対策を示すこと。

すどう あきお	公明	個人	十二
---------	----	----	----

一(一)ア

はじめに、東京二〇二〇(にーぜろ にーぜろ)オリンピック・パラリンピックの北区における諸課題の対応について、順次お答えします。

はじめに、外国人観光客への対応についてです。

大会期間中は、北区で事前キャンプを行う

ハンガリー関係者をはじめ、

駅周辺の商店街などを中心に、

多くの外国人観光客が

北区にも訪れることが予想されます。

区では、これまで、

東洋大学との連携による

指差し(ゆびさし)コミュニケーション・ボードの作成を

はじめ、「ROUTE2020(るーと にーまる にーまる)

トレセン通り」の整備や、

外国人向け観光ガイドマップの発行、

(後頁へ続く)

すどう あきお	公明	個人	十二
---------	----	----	----

(前頁から続く)

公衆無線LAN(らん)の整備などに取り組んできました。
今後、これらの更なる活用促進を図るとともに、
東京北区観光協会と連携し、
外国人観光客への魅力発信に取り組んでまいります。

すどう あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

一 東京2020オリンピック・パラリンピックの北区における諸課題の対応について

(一) 大会期間中における観光客をはじめとした多数の来訪者に係る諸課題

- イ 異文化の方が多数集まる期間におけるゴミ対策
- ウ 不特定多数の方が集まる期間における防犯対策
- エ 新型コロナウイルスなども含めた感染症対策

【要旨】

オリパラ期間中、多数の異文化の方や不特定多数が集まる期間（イベント）のゴミ対策・防犯対策、新型コロナウイルスを含む感染症対策等の諸課題について、地域の方々からも心配の声が聞かれる。

東京都との連携や、区としてどのような対策を立てているかを伺う。

すどう あきお

公明

個人

十二

一(一) イウエ

次に、東京2020(にーぜろ・にーぜろ)大会

開催期間中における、ゴミ対策や防犯対策、

新型コロナウイルスを含む感染症対策について、

お答えいたします。

不特定多数の方々が集まる

イベント時におけるゴミ対策として、

会場内へのゴミ箱の設置、

ボランティアなどのスタッフによる

来場者への声掛けを徹底するとともに、

防犯対策では、

区内警察署との情報連絡体制の整備や、

イベント会場の巡回など、

今後も継続してまいります。

また、聖火リレーや

コミュニティ・ライブサイトに際し、

(後頁へ続く)

すどう あきお

公 明

個人

十二

(前頁から続く)

警察や施設管理者と連携し、

個別の警備計画を策定するなど、

来場者や地域の方々の安全を確保してまいります。

また、感染症対策として、

イベント会場における衛生管理を徹底するとともに

イベントに従事する職員やボランティアへ、

麻しん・風しんの予防接種を受けることを

勧奨するなどを検討してまいります。

なお、新型コロナウイルス対策については、

今後とも正確な情報収集に努め、

状況に応じて適時適切な対応を講じてまいります。

すどう あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

一 東京2020オリンピック・パラリンピックの北区における諸課題の対応について

(二) オリンピック聖火リレーの準備状況

【要旨】

オリンピック聖火リレーは、区民が最も大会を身近に感じることができ、心のレガシーとなるものである。安全かつ万全の体制での実施が求められるが、当日の交通整理や警備体制などの準備状況を伺う。

すどう あきお

公 明

個人

十二

一 (二)

次に、オリンピックピック聖火リレーにかんする

当日の交通整理及び警備体制の準備状況について、
お答えいたします。

聖火リレーの実施体制は、

主催が東京2020（にーぜろ・にーぜろ）組織委員会、

共催が東京都聖火リレー実行委員会であり、

区は、東京都へ協力していくこととなります。

車両の交通規制や交通整理、沿道の警備は、

東京都の役割となっており、

区では、沿道の案内誘導や走路確保

などを中心に行います。

しかしながら、約四キロメートルにわたる

リレーとなるため、

区が担う 沿道の案内誘導や走路確保などについては、

現時点で五七〇名のボランティアスタッフが

(後頁へ続く)

すどう あきお

公 明

個人

十二

(前頁から続く)

必要となりますので、

ボランティアスタッフの募集については、

沿道周辺の町会・自治会や

北区体育協会などに、

順次、協力依頼を行っているところであり、

その他にも、一般公募も行っております。

なお、詳細については、本定例会の

所管委員会でご報告させていただきます。

すどう	あきお	公明	個人	十二
-----	-----	----	----	----

(質問の事項及び要旨)

一 東京2020オリンピック・パラリンピックの北区における諸課題の対応について

(三) トレセン通りへのシティドレッシング

【要旨】

聖火リレーのルートともなるトレセン通りへの今後のシティドレッシングの展開と、沿道の区立西山公園内に設置してある「アスリート手形モニュメント」をアピールする企画について、区の見解は。

すどう あきお

公 明

個人

十二

一 (三)

次に、トレセン通りへのシテイドレッシングについて、お答えいたします。

聖火リレーは、

「トツプアスリートのまち・北区」の魅力を区内外へ発信する好機となるため、

シテイドレッシングとして、

味の素ナショナルトレーニングセンター周辺の歩道のガードパイプや、トレセン通りの街路灯へ、

東京2020（にーぜろ・にーぜろ）大会統一デザインによる装飾を予定しています。

また、ご提案の

「アスリート手形モニュメント」のPRについても、周辺のシテイドレッシングとあわせて

北区の魅力発信につながるよう、努めてまいります。
なお、昨年九月に開所しました

(後頁へ続く)

すどう あきお	公 明	個人	十二
---------	-----	----	----

(前頁から続く)

味の素ナショナルトレーニングセンター・イースト
において、施設案内パンフレットと一緒に、
区が作成した「アスリート手形モニュメント」の
案内をセットにして、
施設見学者へ配布をしています。

すどう あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

一 東京2020オリンピック・パラリンピックの北区における諸課題の対応について

(四) パラリンピック競技の魅力発信

(五) レガシーとしてのスポーツ施設のさらなる充実

【要旨】

コミュニティライブサイトにおける競技体験では、パラリンピック競技の魅力を伝えるため、VR等の活用、ボッチャ等の気軽に楽しめる競技の実施、東京都障害者総合スポーツセンターと連携した取り組みを提案するが、区の見解は。

また、3X3バスケット等の若者に人気のあるオリンピック種目や、子どものボール遊びが可能な場所を増やすこともレガシーであると考え、「トップアスリートのまち・北区」として区の構想はどのようなものか、伺う。

一 (四) (五)

次に、パラリンピック競技の魅力発信、レガシーとしてのスポーツ施設のさらなる充実、について、順次お答えいたします。

コミュニティ・ライブサイトでは、オリンピック期間中に、パラリンピック競技を多くの方に知っていただき、パラリンピックの盛り上がりにつなげていくことが、大切であると考えております。ご提案いただきました

VR(ぶい・あーる)を活用した競技体験など、来場者が楽しみながら競技を知る企画については、東京都障害者総合スポーツセンターをはじめ、北区リレーションシップ協議会とも連携しながら、検討してまいります。

また、3月下旬に開催予定の

(後頁へ続く)

(前頁から続く)

百日前(ひやくにちまえ)記念イベントでは、

自転車競技・BMX(びー・えむ・えっくす)フリースタイルや
ボルダリングなどの

新種目の競技体験を実施し、

新しい魅力に触れることができる機会も

提供していきます。

なお、ご提案いただきました

「スポーツをする場所」の充実については、

今後の検討課題とさせていただきます。

すゞろ あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

二 小学校のプログラミング教育導入における

取組と展望について

【要旨】

- (一) 現状のW i F i環境とタブレット端末環境がどれくらい整備されているか。
- (二) プログラミング教育の実施に当たり、教える教員の研修や教材準備など、学校の対応は怎么样了いるのか。
- (三) 現在計画されている小学校第五学年算数と小学校第六学年理科の学習内容の詳細と今後の方向性・展開を教えてください。また、一年生から四年生の学習教材などの考え方も教えてください。
- (四) 北区こどもプログラミングコンテストの在り方、発表への取組について教えてください。
- (五) プログラミング教育との関連で、東洋大学との連携をどのように考え、進めようとしているか。

すどう あきお

公明

個人

十二

二(一)～(五)

私からは、小学校のプログラミング教育導入における取組と展望についてのご質問に

順次お答えします。

まず、現状のW i F i環境とタブレット端末環境の整備状況についてです。

小学校では、全校で校内無線LANを導入しており、タブレット端末は、全校で四千三百二十台、児童約二・九人につき一台の整備状況となっています。

次に、各学校での対応についてですが、

令和二年度からの新学習指導要領全面実施を踏まえ実際に指導を行う教員には、これまでに教育課題研修会を悉皆で実施するとともに、

I C T活用研修や

I C T支援員による実技研修を行い、

教員の知識や技能の向上を図っています。

(後頁に続く)

(前頁から続く)

また、使用する教材については、

各小学校に配布や貸し出しを行う準備を進めています。

次に、学習内容と今後の方向性・展開についてです。

プログラミング教育の指導内容については、

第五学年の算数では、コンピュータを使って

正多角形の作図の手順をプログラミングし、

第六学年の理科では、

簡単な基盤による照度や温度の感知を通して

「電気の利用と性質」を学習することとなっています。

今後については、本年度、

東京都教育委員会プログラミング教育推進校である

北区立小学校二校の研究成果等に基づき、

一年生から四年生までの実施内容や方法、

教材も含めて検討しており、

その検討結果も踏まえて実施してまいります。

(後頁に続く)

(前頁から続く)

次に、

北区こどもプログラミングコンテストについてです。

この事業は、NPO法人プログラミング教育研究所と協働している事業で

今年度は、昨年度の三倍にあたる六百人以上の方に来場いただきました。

来年度に向けては、学校での

プログラミング教育実施において得た知識や技能を発揮できるようなコンテストとして充実を図っていきます。

次に、東洋大学との連携については、

これまで、学校における体験教室への学生の派遣や教育委員会が実施する事業への協力や支援を依頼しています。

今後も、東洋大学情報連携学部と十分に連携し、プログラミング教育の推進を図ってまいります。

すどう あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

三 宅配ボックス設置への助成金制度の

創設について

(一) 北区において、公共施設や店舗などに宅配ボックスはどのくらい設置されているのか。

【要旨】

宅配便の再配達は、CO2排出量の増加やドライバー不足を深刻化させるなど、重大な社会問題の一つとなっている。この問題の解消のひとつに、宅配ボックスの設置が注目されている。福井県あわら市では、二千十六年十一月に「宅配ボックス実証実験」を開始。四か月の実証実験で宅配ボックス設置による再配達率が四十九%から八%へと減少。二千十七年度には 宅配ボックス購入者への助成制度を設け、四万円を上限に宅配ボックス購入費の二分の一までを助成した。宅配ボックス設置への支援は、再配達による配達従事者の負担軽減、労働時間の削減に寄与し、環境問題、CO2削減に大きく寄与するものと考ええる。

すどう あきお

公 明

個 人

十二

三(一)

次に、宅配ボックス設置への助成金制度の創設についてのうち、北区内の公共施設や店舗などへの宅配ボックスの設置状況について、お答えします。

まず、区の公共施設についてですが、設置の実績はありません。

また、区内の店舗などへの設置状況については、詳細には把握をしていませんが、

JR(ジェイアール)、東京メトロの各駅、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、郵便局などに設置されているケースがあると認識をしています。

すどう あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

三 宅配ボックス設置への助成金制度の創設について

(一) 北区での戸建て住宅や集合住宅向けの「宅配ボックス設置に対しての助成制度」の創設を提言するが、北区の見解は。

【要旨】

宅配便の再配達は、CO2排出量の増加やドライバー不足を深刻化させるなど、重大な社会問題の一つとなっている。この問題の解消のひとつに、宅配ボックスの設置が注目されている。福井県あわら市では、二十十六年十一月に「宅配ボックス実証実験」を開始。四か月の実証実験で宅配ボックス設置による再配達率が四十九%から八%へと減少。二十十七年度には 宅配ボックス購入者への助成制度を設け、四万円を上限に宅配ボックス購入費の二分の一までを助成した。宅配ボックス設置への支援は、再配達による配達従事者の負担軽減、労働時間の削減に寄与し、環境問題、CO2削減に大きく寄与するものと考ええる。

すどう あきお	公 明	個 人	十二
---------	-----	-----	----

三 (二)

次に、戸建て住宅や集合住宅向けの「宅配ボックス設置に対しての助成金制度」の創設についてです。

国土交通省では、宅配便の再配達による、CO2(シー・オー・ツー)排出量や

労働生産性への影響など社会的損失について試算を行っており、宅配ボックス設置による再配達の削減はこれらに対し、一定の効果があるものと考えております。

現在、

ご紹介いただきました「あわら市」における助成制度のほか、

江東区、江戸川区や横浜市において

宅配ボックス製造事業者、宅配事業者等の協力を得て、実証実験の実績があると伺っております。

(後頁へ続く)

すどう あきお

公 明

個 人

十二

(前頁から続く)

あわら市の助成制度については、
今年度で終了するとのことであり、
江東区、江戸川区では、
今年度で実証実験は終了するものの、
来年度以降の事業化については未定、
また、横浜市については、
今月から実証実験を開始したところ、とのことですが、
効果を検証する上で、各自治体とも実施目的が、
シテイプロモーションや環境対策、
産業振興からの観点と、それぞれ異なっており、
かつ、限られた短い事業期間であることから、
事業の有効性を
見極めることが難しい状況ですが、
引き続き、先進事例の状況等について
調査を進めながら、研究を深めてまいります。

すどう あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

四 地域の課題について

- (一) 来年度以降の旧桐ヶ丘分室の臨時窓口の開設について

【要旨】

区民事務所七分室の廃止に際し、桐ヶ丘地域では、高齢で都営住宅に住んでいる方が多いことから、臨時窓口を開設したものと認識している。

この臨時窓口の効果・実績を示すとともに、臨時窓口にかかった経費及び分室廃止前の運営経費をお示しください。また、今年度も臨時窓口が必要と考えるが、区の考えを示してください。

将来的には、更にマイナンバーカードの普及促進及びコンビニ交付の利点の周知が重要と考えるが区の考えはどうか。

すどう あきお

公 明

個人

十二

四(一)

続いて、地域の課題について のうち

来年度以降の旧桐ヶ丘分室の

臨時窓口の開設についてのご質問にお答えします。

まず、昨年六月に開設した

旧桐ヶ丘分室臨時窓口の効果等についてです。

開設期間の来所者数は千五百四十六人で、

九十六パーセントを超える方が、

桐ヶ丘、赤羽北、赤羽西の三地区にお住まいでした。

税証明と住民票の発行数は、千四百六十二件で、

八十九パーセント強の使用目的が都営住宅関連でした。

開設期間の人件費や施設の維持管理費等は、

総額で約二百万円強、

一方、分室の経費は、人件費を財調単価で推計して、
年間千九百万円弱となります。

次にコンビニ交付のメリットについてです。

(後頁へ続く)

すどう あきお	公 明	個人	十二
---------	-----	----	----

(前頁から続く)

議員ご指摘のとおり、

マイナンバーカードによるコンビニ交付には、
様々なメリットがあり、コンビニ交付の件数は、
今年一月時点で、一万九千二百四十二件、
昨年度より五割程度の増加となっています。

区としましても区民まつり会場やふれあい館、
ご要望をいただいた町会等での
出張申請補助サービスなど、
マイナンバーカードの普及の取組みを行っており、
あわせて、コンビニ交付の利点についても
周知に努めてまいります。

このような状況から、臨時窓口の開設については、
今後の利用状況とともに
マイナンバーカードの普及率や
コンビニ交付の利用状況を

(後頁へ続く)

すどう あきお	公 明	個人	十二
---------	-----	----	----

(前頁から続く)

踏まえた検討も必要と考えています。

なお、令和二年度の旧桐ヶ丘分室の

臨時窓口については、開設を予定しています。

すどう あきお

公 明

個 人

十二

(質問の事項及び要旨)

四 地域の課題

(二) 赤羽台・桐ヶ丘間、赤羽西五・六丁目間の歩道橋の在り方について

ア 今後震災対策、安全対策として修繕補強が必要ではないか

イ 歩道を含め現状での改善策を立てるべき

ウ 歩道橋の利用状況を調査し、安全性と利便性を追求すること

【要旨】

桐ヶ丘赤羽台歩道橋、島下公園歩道橋は、共にスロップ付きの歩道橋であり、バリアフリーの歩道橋として地域に親しまれているが、老朽化が見て取れる。島下公園歩道橋は、支柱の影響で通行に難があるが国立印刷局宿舍建設によって幅員の拡大が期待されている。東京都の管轄だが二橋の撤去を含め、今後想定される大規模な震災が来る前に、利用状況の調査を求めるとともに、安全性と利便性を追求する対策を求めめる。

すどう あきお

公 明

個 人

十二

四(二) ア・イ・ウ

次に、赤羽台・桐ヶ丘間、赤羽西五・六丁目間の歩道橋の在り方についてお答えします。

桐ヶ丘赤羽台歩道橋、島下公園歩道橋は、共に東京都が管理している歩道橋です。

頂きました、ご意見、ご要望については、

ご提案の趣旨を踏まえ、

東京都にお伝えさせていただきます。

なお、島下公園歩道橋の赤羽西五丁目側については、国立印刷局赤羽宿舎(仮称)整備事業に伴い締結した、北区居住環境整備指導要綱に基づく協定書により、事業者が

歩道状空地の整備を行うこととなっております。

すどう	あきお	公	明	個	人	十二
-----	-----	---	---	---	---	----

(質問の事項及び要旨)

四 地域の課題

- (一) 赤羽台・桐ヶ丘間、赤羽西五・六丁目間の歩道橋の在り方について
- エ 今後の桐ヶ丘のまちづくりについて

【要旨】

○赤羽台・桐ヶ丘歩道橋については、今後の桐ヶ丘のまちづくりにおいて、桐ヶ丘区民センターなど公共施設ができるのであれば施設と接続して、利便性を高めることを検討してほしい。

すどう あきお

公 明

個 人

十二

四 (二) エ

つぎに、今後の桐ヶ丘のまちづくりについて、
お答えします。

桐ヶ丘赤羽台歩道橋の桐ヶ丘側の敷地は、

東京都の桐ヶ丘団地第六期建替計画では、

「創出用地A」と位置付けられ、

桐ヶ丘区民センターの整備や、

商業・福祉・医療の生活利便機能を集積させることで、
多様な人々の交流やにぎわいを創出する計画です。

「創出用地A」の施設配置については、

現在、東京都と区で協議を進めているところであり、

ご提案の歩道橋と公共施設との接続など、

施設利用の利便性を高める方策については、

今後の土地利用計画の策定の中で

検討してまいります。

すどう あきお

公明

個人

十二

(質問の事項及び要旨)

四 地域課題について

(三) 赤羽西六丁目周辺地域の産業振興・活性化について

【要旨】

赤羽西六丁目地域は区営団地、都営団地に加え、近年新しいマンションが立ち並び高齢者やファミリー世帯が増えている地域である。

この地域の共通課題のひとつは、普段使いの出来る日用品・食料品の買い物が出来る商店の少なさにある。北区でも徐々に買い物難民対策は進んでおり、十条銀座商店街がシルバーピア赤羽北で出張商店街を開き、地元の方々に好評を博している。

是非この地域に、今以上の利便性を高めることが重要と考える。区は、産業振興としての店舗増にも力を尽くすべきであり、移動販売車にもインセンティブを与えるなどして、増加を目指すなど、さらなる活性化に努めるべきと考えるが、見解はどうか。

すどう あきお

公 明

個 人

十二

四(三)

次に、赤羽西六丁目周辺地域の産業振興・活性化についてです。

「産業活性化ビジョン二千十八」では、商業・サービス業分野の重点施策方針のひとつに、「区民生活を支える産業の振興」を掲げています。

区では、空き家などを活用して、地域課題をビジネスの手法で解決を図る場合に、店舗賃借料の一部補助などを実施するとともに、区内商店街に対しては、東京都が実施する買い物弱者支援に対する補助事業の周知をおこなっています。

また、赤羽西六丁目に隣接します桐ヶ丘地区では、東京都による桐ヶ丘団地建替事業により、団地南側の創出用地Aに、

【次頁へ続く】

すどう あきお

公 明

個 人

十二

【前頁から続く】

商業・福祉・医療の生活利便機能が集積した

大規模な施設を民間活力の活用により

整備する計画があり、

東京都と実現に向けた協議を進めています。

区といたしましては、

シルバーピア赤羽北での

移動販売の状況も検証しながら、

買い物利便性の向上について、

検討してまいります。